

漁業の未来を切り拓くために

村林 聡 議員
(自民・無所属議員団/度会郡選出)

問

遠洋漁業などが不振な中、三重県の水産業の発展には、長期的な戦略を持つべきだと考えますが、これからの水産業への考え方をお聞かせください。

また、養殖業の経営が厳しいため、養殖魚の高付加価値化を図るための取り組みとして、「**⑤松阪牛** 個体識別管理システム」のような認証制度が必要だと考えますが、いかがですか。

答 効率的な漁業活動の安定的な展開により、水産業を食料供給産業として持続的に発展させていくことが重要と考えます。

県では、水産用医療品の適正使用などに取り組みできました。新たに養殖マダイをモデルと



いけすの中を泳ぐマダイ

して、消費者に生産履歴などの情報を提供する「養殖JAS規格」の取得を支援しています。その他の質問事項
○公共事業に文化力を ほか

長寿医療制度

中川 康洋 議員
(公明党/四日市市選出)

問

これまでの国民健康保険や老人保健制度の実態からみて、長寿医療制度は、制度そのものの骨格を維持したうえで、必要な改善を行うことが大切だと考えます。知事は、この制度をどう評価しているのか伺います。

答 将来にわたって国民全体が、医療費の負担を公平に分ち合うことを目的として、この制度がつけられたものと認識しています。制度が円滑に機能するように、役割を果たしていきたいと考えます。

石原産業の相次ぐ法令違反に対する県庁の対応の旨を問う

萩原 量吉 議員
(日本共産党三重県議員団/四日市市選出)

問

石原産業の法令違反が相次ぐ背景は、16年間も報告データをごまかしているにも関わらず、県はそれを行うのみにし、検証すらしなかったからだと考えます。県の対応に問題があったのではないのでしょうか。

答 一時期、環境マネジメントシステムを取得した工場は、環境への意識が高いとの認識で、自主的な環境管理を重視していました。今後は立入検査の充実と、企業の環境意識を高め、法令遵守の確立に努めます。

用語解説

① 三重の森林づくり条例

三重の森林を守り、育てることについて、基本理念を定め、県、森林所有者、県民等の責務や県の施策の基となる事項を明らかにすることによって、総合的かつ計画的に施策を推進していくことを定め、平成17年10月に制定された条例。

② 子ども局

子どもを安心して生み育てることができ、子どもが心身ともに健やかに育つことのできる環境づくりに向けて、子ども関連施策を総合的、一体的に推進するため、今年度4月から健康福祉部に設置。

③ 三重県地域防災計画

災害対策基本法の定めるところにより作成する、一定地域(都道府県、区市町村)に係る防災に関する総合的かつ基本的な計画。区域内の防

災上重要な施設の管理者の処理すべき事務又は業務の大綱や災害応急対策ならびに災害復旧に関する計画を定めている。

④ 防災事業推進懇話会

三重県に甚大な被害を及ぼすと考えられる東海地震、東南海・南海地震及び内陸直下型地震に備えるための地震対策について、多様な角度からの意見を聴くため、産学民の委員15名により構成する懇話会。

⑤ 松阪牛個体識別管理システム

国がすべての牛を対象に性別、生年月日、出生地等を管理している個体識別番号を利用し、さらに血統、生産者情報、肥育情報などを独自に拡張し、36項目のデータを集積したもの。出荷の際に「松阪牛証明書」「松阪牛シール」が発行され、消費者は、インターネットを通じて個体識別番号からさまざまな情報を確認することができる。